

コロナ禍の2学期の船出～学びを止めないために今できること～

夏休みが終わり2学期の始業式を迎えました。この夏は第7波と言われる感染拡大が社会活動に大きな影響を及ぼしてきました。本校の納涼の集いや校内美化活動、ふれあい自然観察会も中止せざるを得ない状況になり、人や自然とふれあう貴重な体験の機会がなくなっていました。

2学期は、9月の運動会から始まり、多くの学校行事や社会見学の予定があります。現在、校外学習等の制限はありませんが、この先、状況により学年閉鎖や自宅待機を余儀なくされる場合など様々な対応を想定しておかなければなりません。本校では、これまでから、教室と家庭をオンラインで結び、家庭から授業に参加するハイブリッド型のオンライン授業を進めてきました。家庭から教員や友達との対話を通して、可能な限り教室と同じ学習ができる環境を整えてきました。子どもたちもタブレット端末の操作に慣れてきています。接続等で家庭でのご支援をお願いする場合がありますが、よろしくお願いします。

先が見通せない状況はしばらく続きそうです。本校の小規模の学習集団、そして小規模の教職員集団の強みを生かし、その時々柔軟に対応しながら、学びを止めない取り組みを続けていきます。



夢、目標ありますか？ ～全国学力・学習状況調査結果から～

文部科学省が実施した今年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。7月29日付けの新聞記事に『「夢、目標ある」5割減』という見出しがありました。兵庫県内の小学6年生と中学3年生は、自己肯定感や挑戦心、将来の夢や目標があると回答した割合が、いずれも全国平均を下回ったとのこと。新型コロナウイルス禍前より5割前後減少した項目が多く、学校行事や部活動の縮小などで、こうした意識を高める体験が不足している影響も考えられるとの内容でした。

確かに、この2年間、できなかったことはたくさんあります。この先も同じような状況になるかもしれません。だからこそ、校内や教室での勉強、さらには、地域の人とふれあう活動を工夫し、充実させることが今の学校には求められています。たとえダイナミックな活動ではなかったとしても、仲間と知恵を出し合い、自分たちで決めたことを、試行錯誤しながら、工夫や努力を重ねて、粘り強く取り組む過程で「学びに向かう力」を育てる教育活動を大切にを進めていくことを再確認しました。

なお、本校の全国学力・学習状況調査結果を踏まえた取り組みについては改めてお伝えをします。



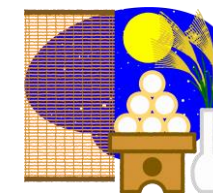
77回目の夏 ～「平和への誓い」思い新たに～

この夏、私(校長)は、自宅を離れられない期間がありました。その間、本を読んだり、テレビ番組を観たりする時間が多くあり、その時期は終戦に関わるテレビ番組や新聞記事が多くありました。本県ゆかりの人物、戦前最後の沖縄県知事となった島田叡(あきら)さんの新聞記事を目にし、いつかは島田叡さんのお話を子どもたちに伝えたいと思いながら、本棚から中学校用の兵庫県道徳副読本「心かがやく」を取り出し読み返していました。

8月6日、77回目の広島平和記念式典がテレビ放送されていました。本校6年生が修学旅行で訪れた原爆戦没者慰霊碑前で、広島小学6年生2人が「あなたにとって大切な人は誰ですか」と語りかけた「平和への誓い」に心動かされました。そうだったと思い返し、藍小の6年生が修学旅行後にまとめ、教室を回って伝えていった「藍小の平和五か条」を読み返しました。思いは同じでした。相手を思いやる優しさや感謝など、身近な生活から平和を誓う子どもの願いに思いを新たにしました。

《9月の主な学校行事予定》

- 1(木) 給食開始、通常授業開始
- 2(金) 委員会活動(5,6年)
- 9(金) 運動会準備係(4,5,6年)
- 16(金) 運動会準備【1,2,3年終会13:45、4,5,6年終会14:50】
- 17(土) 運動会【詳細は後日配付の別紙参照】
- 20(火) 運動会の振替休業日
- 30(金) 3年生市内めぐり クラブ活動(4,5,6年)



子どもの声に耳を傾けて

新学期に向け、新たな目標を見つけ、目を輝かせて学校生活を送れる子がいる一方で、生活リズムがつかめずにいる子どもでてくるものです。長い夏休みに身につけてしまった生活リズムを取り戻すのはおぼつかしいものです。大人も、長い休みの後にはやる気が起きないこともあります。この時期、「学校に行きたくないなあ」といった心の内が言葉として現れることもあります。また、自分でも理由がよくわからない不安や苛立ちに襲われ、不安定な心の状態になることもあります。

長い休みが明けこの時期は、子どもの声にしっかりと耳を傾けていただき、子どもの心の内に向き合っていただくようにお願いします。周りの大人も「学校に行きたくない」という気持ちは一度や二度は感じたことのある気持ちでしょう。同じような経験をしながら成長していったことを伝えるだけでも安心するものです。

お子さんの様子で気になることがある場合は、担任や養護教諭にご相談ください。相談にお越しいただいても大丈夫です。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談することもできます。お気軽にご相談ください。